

第5回 おしえて とっとりウーマンが語る 建設産業の魅力インタビュー

「図面を3D化して完成イメージを共有化、女性社員が生産性向上の要に」

美保テクノス(株) (米子市)

BIM 戦略部

いけだ

池田 みゆきさん

2級土木施工管理技士

島根県安来市出身、平成17年入社、現在土木部と兼務

たけうち ちえ

竹内 智恵さん

カラーコーディネーター2級

AutoCAD オペレーター

米子市出身、平成5年入社



弊社は、平成30年7月にBIM戦略プロジェクトが始動、同年10月にBIM戦略部が発足し、BIMデータの活用・推進をしています。

鳥取県ではじめてICT土工が導入された、「国道181号（岸本バイパス）改良工事」では、CIMを活用し、現場全体の見える化を行いました。施工が円滑に進んだことで工期短縮に繋がりました。

また、「鍵掛峠道路新屋地区改良工事」では、図面を3D化し、配筋の見える化に取り組みました。鉄筋の種類別に色付けした配筋アニメーションは、完成イメージや作業手順が分かり易くなったことで、作業の手戻りが少なくなり、若手技術者や鉄筋工、発注者に好評でした。

私たちの強みは、池田が現場のプロ、竹内が設計のプロとして、それぞれの分野を補完することで、より現実的で実用的なBIM・CIMの運用を実現できることです。

今後の課題として、BIM・CIMモデルを作成できる人材育成と現場職員の理解度の向上です。また、多くの現場でBIM・CIMモデルを活用するため、現場知識の習得を図り3Dモデル作成の作業時間を短縮したいと思います。

BIMとは、Building Information Modeling（ビルディング・インフォメーション・モデリング）の略称で、建築分野において3Dデータを作成し、3次元の形状情報に加え、名称や仕上げ、材料・部材の仕様・性能、コスト情報など、建物の属性情報を併せもつ情報モデル（BIMモデル）を構築すること。

CIMとは、Construction Information Modeling（コンストラクション・インフォメーション・モデリング）の略称で、土木分野におけるBIMと同義で、調査・測量～設計～施工～維持管理のライフサイクルにおいて、3Dデータを活用して、従来の業務の効率化を図り、新たな価値を生み出す取組。